

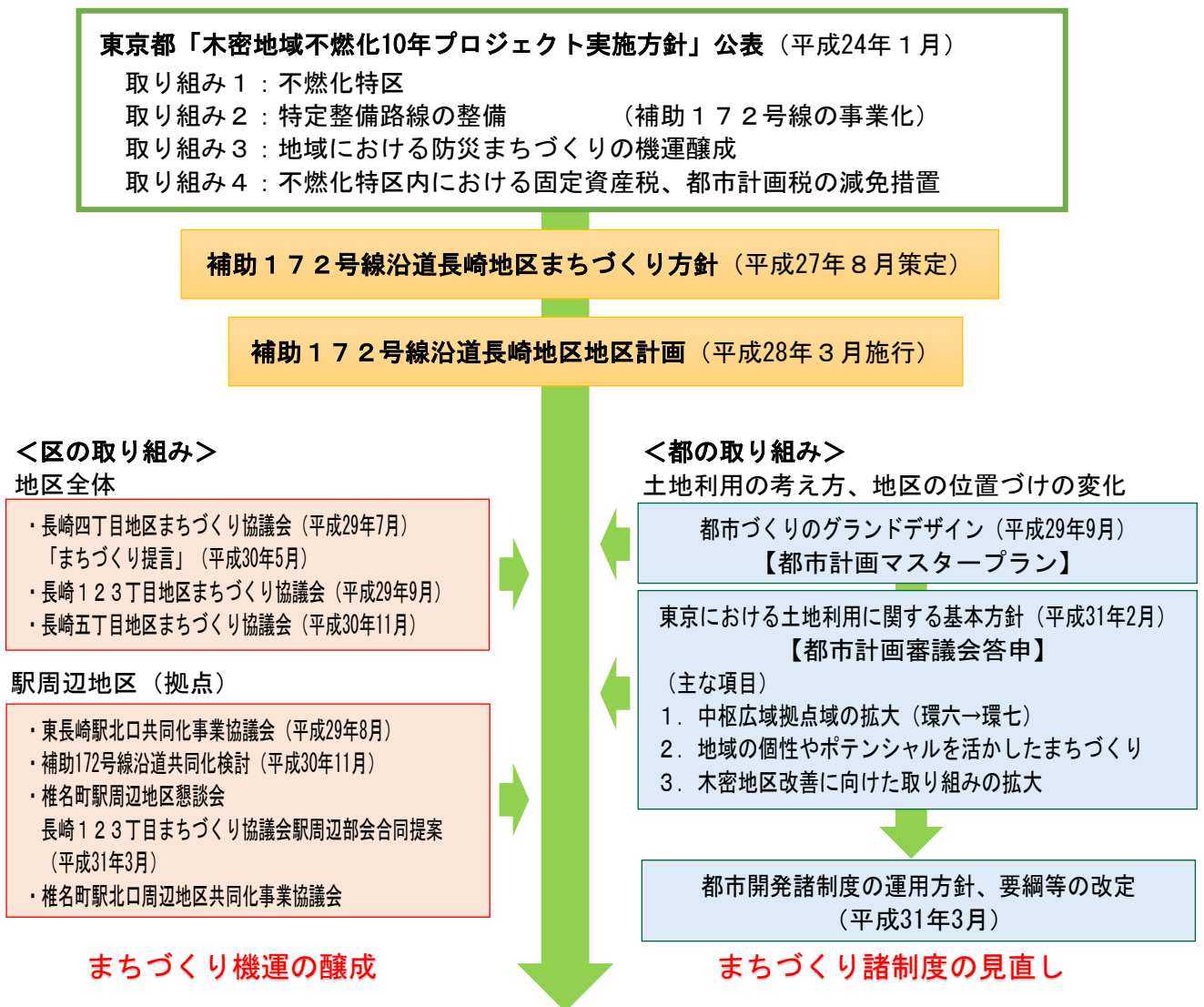
補助172号線沿道長崎地区まちづくり方針の改定について

1. 経緯

長崎地区は、平成24年1月に東京都が策定した「木密地域不燃化10年プロジェクト」による不燃化特区の指定、特定整備路線の整備、都市防災不燃化促進事業の開始など不燃化促進策と規制誘導を組み合わせ、防災まちづくりの取り組みを強化してきた。そして、補助172号線道路事業による居住環境の変化を踏まえ、面的な事業手法を活用した沿道まちづくりや個人だけでは解決できない課題に対応していくことが求められている。

そこで、区は、地区の声を反映させた「補助172号線沿道長崎地区まちづくり方針」及び「補助172号線沿道長崎地区地区計画」を整備し、適正なまちづくりを誘導するとともに、まちづくり協議会の支援を行い、まちづくり機運の醸成を図っている。

一方、東京都は、平成29年に「都市づくりのランドデザイン」を策定し、都市構造の位置付けを見直した。



長崎地区を取り巻く「まちづくり環境」に大きな変化
まちづくりの見直しが必要

2. 概要

別紙「参考資料第1号」のとおり

(1) 意見聴取

区民向け周知	「広報としま5月11日号」、「区ホームページ(5/11)」に掲載 長崎1～5丁目地区に対し全戸配布、地区外権利者には郵送
概要の公表	公表日：5月20日（月） 公表場所：豊島区役所本庁舎（地域まちづくり課、区民相談課）、 西部区民事務所、区民ひろば長崎、区民ひろば千早、 区ホームページ
募集期間	5月20日（月）～6月19日（水）：1か月間 ※意見書面の持参、郵便、ファクシミリ、電子メールによる
意見総数	147人、228件
主な内容 （抜粋）	まちづくり方針改定（170件） <ul style="list-style-type: none">・個性と賑わいを考えたまちづくりは、将来イメージをビジュアルも含めて具体的に提案することが必要。・住民の自助努力では目標達成できない。早く駅前を整備することが大事。速やかに進展されることを期待する。・東長崎駅北口は、今にも崩れそうな家屋が多く、火災が発生すれば大惨事になる。椎名町は、池袋の隣駅として、ポテンシャルを活かしたまちづくりを検討してほしい。・道路の狭さや一方通行が多く、災害時の避難や緊急車両の通行消防活動等いざという時に不安を感じる。・長崎は、昔ながらの街並みが残る下町情緒ある場所。お年寄りや小さな子供達が安全に行き来出来るよう配慮し、今の雰囲気なるべく変えず、静かで暮らしやすいまちづくりを願う。 長崎の街並み（21件） <ul style="list-style-type: none">・災害避難や緊急車両通行、消防活動に不安を感じる。・次々商店が閉店し不安な気持ちになる。・昔ながらの街並みが残る下町情緒ある場所である。 補助172号線（37件） <ul style="list-style-type: none">・緑の少ない当地に、172号線歩道に街路樹の植樹を行い、並木通りを作って欲しい。・地中に主要なインフラを入れて、電柱をなくす。・新しい広い道は、横断する人と車や自転車などの事故が多発すると思うので、対策をして欲しい。

(2) 住民説明会（2回開催）

1回目 5月29日（水）19：00～ 長崎第四区民集会室（42名参加）



2回目 5月30日（木）19：00～ 区民ひろば長崎（62名参加）



主な質問・意見等（18人・38件）

① まちづくり方針改定（25件）

「文化・交流」、「都市型住宅」、「アクセス道路」、「交通広場」、「防災拠点などの公共空間」、「土地の健全な高度利用」、「低未利用地の活用」、「高経年マンション更新」、「ポテンシャル」、「方針図」について、区の考え方を知りたい。

② 長崎の街並み（4件）

東長崎も椎名町も、まちが疲弊してきている。今回、駅前を整備していく取り組みは良いことだと思う。疲弊している理由について、住民からしっかり聞きとり活性化を検討してほしい。

③ 補助172号線（9件）

「補助26号線（千川通り）との交差点における渋滞発生懸念」、「道路整備の要望」、「立ち退き補償」など。